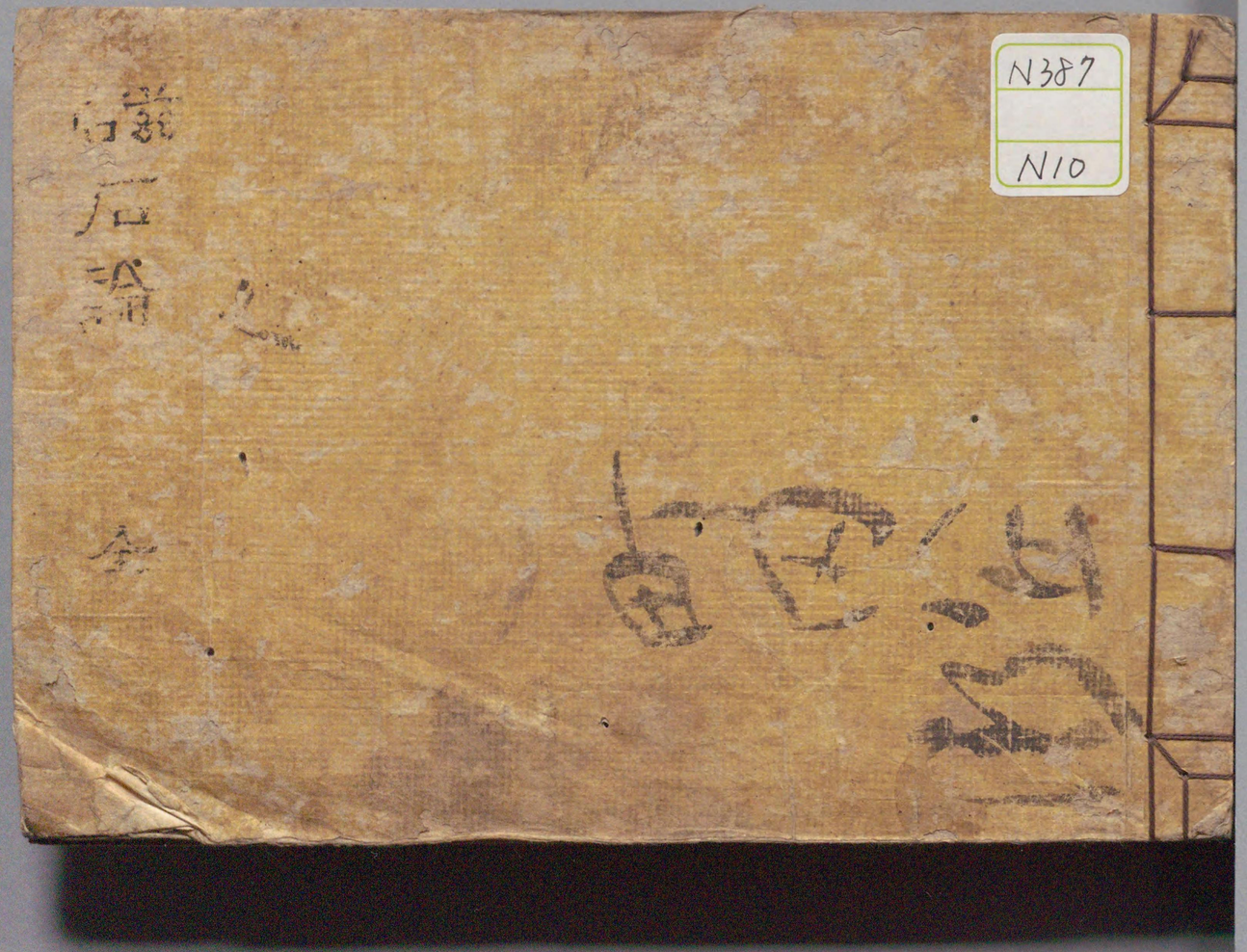
N387
N10



国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

石井光致述

# 磁石論

東都書林　千鍾房發兌

書 13.7.24 図会

01W50725

磁石論

凡ソ世ニ怪キモノ多シ蓋シ上ハ天地ヲ始メ下ハ

日用萬民ノ通途ニ至迄夜ヲ多クス

止鳴ナシ故ニ宇宙間ノ怪キモノハ是ヨリ

大ナルハナシ中ハ人倫ノ男女アル生

死アル死生ヨリ先アルモ生ルヽ

ヤ呼吸ノ息ヲ通ヒ音聲ヲ發スルヲ見

スルニ及テハ言語男ニ隨テ發シ四

肢ヲ搖動ノ止事ヲ知ルニ及テ

ハ死カモ死スルニ似リ眼力ニ於ルヤ青

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

丹白ヲ呑ラカニシ夏醪ニ於ルヤ音
無邪ヨリ知リ鳴聲ヨヲ高ヤ知リ
物トシテ多刻セサルコナシヲ多鮮
ハ腐アツテ為ニ要スル所ロアツテ以テ
一身ノ全キヲナス心ノ寡ニ於ルヤ触物
ノ奥ヲ窮尾ヲ知ルヲ貴ヲ不自ア
ツテ孝ヲ刻フト雖ト成ス
ルトアリ智ノ如ルニ於ルヤヲ物
二周ツテ足ノ間ヲ通ヒ思ヒ
ラサル所ロナリ智者ナル所ヨ

シ是ヲ見ルニ乃チ八上ニ挙ル所ノモノ
一ツモアルコナシ是怪キモノ家ヨリ
大ナルハナシヲ窮穴鮮今ニ於ルモ亦
復爾リ下ハ此ヨニ於ルヤヲ是ヲ
ハ枯木ヲ生ヲ多ヲ牡ニ附ニ死ヲ
ナシヲ雨ヲ雪ヨリ来ヲ穴ヲ脱シ
是ヲ見ルニ朽木ノ如キ然レ
ヲ是ヲ盛ニ心ハ前ヲ手ノ能ヲ盛
ルカ如シ是ヲ怪ニテ若ヲ幹ヲ怪
キ雄ヲヤ・アラント是ヲ怪ニテ此ヲ伐リ

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

此ヲ別テ見ルニ至ル怪探ナルモノ殊ニ
ナシ亦是ニ根ス所ロヲ穿テ見シハ
但如大ノ根等ノミアリ是ヲ探ル
施ス事ナスニ及ニハ是亦軽キノ大ナ
ルモノナリ為ニ此等ノ倫アリフレニヨ
リ見ル時ハ事物ヲ探ニ是ヲ怪ムモノ
ナシ古人ノ回人倫ナキ国ヨリ是ヲ
見シハ人目ヨリ怪キモノハナシト是
ヲ至テ甚リ其物ハ回乱ヲ未回聞
お(為)ル(ニ)此ニ当ル内ハ殊ニ心ヲ言リ
力如ニ所謂山谷リ谷ル(ニ)ナリ世俗
ニ所謂山猫ヲ驚ニコレナリ回史ニ
モノスラ脱ニ回キナリ故ニ聖人
ノ回ヲ地験ヲ事回ニ回めンムヒ
ニヲ志回ニ不如験ヲ事ノ験ス
験ノ術中ナル教ト甚ル所回乱
回将ヌルヤ是ヲノ甚百ニ倫ル所ロ
ニノ必為ノ程ナリ何ノ怪ムニ足ラン
書ヲ石ヲ(ニ)お(為)ル(ニ)ヤヒヒ(ニ)ヤヒ(ニ)ヤ石ヲ
ヨヒヒ石化ノ今トナリ論ル化ノ石ト

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

リ磨雲ニメ後面フリ山澤ヲ通ヲ面ニ
水系湧出ヲ泉渾湧ヲ海ノ
鹹アリ泉ハノニホナリ水ノ水ノ水リ
之解ケ或ハ暑或寒ヲ暑ヲ怪トスルハ
一トニテ怪ニカラサルモノナシ至ヒモ用ヒ
ニテモ怪ヲ神ニ神ルハ故ニテ亀ノ是ヲ怪ヲ
抑モ石ニ於ルヤ亦後此ノ如ニ言齊
ノ同ヲ石ハ単ノニテ然ヲ
也ル石ヲタクハ立レハ当ニ鉄ノソツヲ
ヒテコレニ鋼ヲサカラ生ルモノヲ銀カ如ヒ

鋼ヲ所ロノ称ノクツ石ヲアク時ハニ
ニラクウユルトキハ痩ル石ノ以北ヲサシ
尾ハ南ヲサス是ヲ以テハリノ本ニ
石ノ頭ヲスリ未ニ尾ヲスレハ針ノサ
キ北ヲサスト雖時移ル回鉄ハ皆
礦土ヲ取テ炒リ成ス秦晋淮楚湖
南粤廣ノ錆ノ中ニ皆鉄ヲ産ス
廣粉ヲ以テ良トナス再精土ノ鉄鉄
色黒ク性堅ヲ回ク刀鋼ヲ作ルニ
西番ニ出ル寳鉄ハ光ト色勝レリ寳

義論ニ云鉄ニ種アリ剌鉄ハ當用ニ
ニ中ツ色紫ニノ性利ナリ上撓鉄ニ
ニ次ク廣鉄ハ波形ニ中ツ性利ニノ
全ク中ツ切可ニ東蜀山ノ鉄ハ適情ニ
西南ノ海中ノ山石ノ上ニ生ズ状
テ紫石英之如ニ水大壊ルヽ能ハ
除ヲ穿テ玉ヲ切石ノ如シト士商カ幸
此ニ白鉄ハ大功ノ氣ヲ受テ始テ
コレニ生ニ前ニ出ル石コレニ産ズ一百
ヲ鉄ヲ云ヒテ是石トス此ニ二百餘年

ノ物ヲ採トナル又三百年ニノ集練
スルヲ経スノ鋼トナル鋼又化ノ
白根トス白根化ノ金ヲ金トナルト
是当鉄ト金根回ク一根源ナリ
今ニ石ヲ西ヲ是ヲ磨キ用ニ鉄庁
アリ強ク久ヘニ鉄ヲ加ヘニ氣ヲ受ニ
陰氣ヲ交ラス故ニ燥テ潔キヨカラス性
鋼トナリ落ヨニ云ク土ニ精ッテ
アレハニニ鉄アリト鄭樸カ慈石之
贊ニ回ク慈石鉄ヲ吸フ而ヲ慈ヲ

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

ト稱シ磁ニ云ノ如キ是ナリ是ニ由テ此ヲ觀ハ石古昔ヨリ數百年ノ後代ノ為ニ石ト化シ數百年之後代ノ鉄ト化スルヿ明カナリ故ニ為石ト磁ト性ヲ通ヘシト故ニ大清盛ナル事ヲ感ヒ為ニ故ニ親ヲ之ヲイツクシムヲ慈ト云フ此故ニ左傳昭公二十八年ニ

曰又ハ慈ヲ以孝姑ハ慈婦ハ順ト是皆ヲ以テ言ヘリ為ニ以ヘリ為ニ

水ハ濕ヲ潤シヲハ燥ヲ以テ水ヲ

ホツテ為ニ後流ル大ハ燥ヒテ名ヲ

ツク是名ヲ以性通ル所以之者ナリ

為ニ云ル所以之者ハ咸ナリ咸ハ

大陰ナリ伊ノアヤニ云ヿ亦船盤ノ

水氷リニナルヲ曰事ヲ

置クトキハヲ日ヲ以テ

次ニ解ルナリ此故ニ為石モ山之南

月日ヲ文ノ之ヨリ漸ク
為ニトナルヘシ故ニ化セラレヌ次ノ
車ニ向ヒテ曰ク子曰ク車ニ乗リ
化スルニヨリキ尾ノ多ハ此ニ首ヘシ
故ニ聖人所謂回乱ヲ求ル
ノ此程ナル可シ夫古人能ク此程ヲ
覚悟ノ今日ニ所ロノ急石ヲ劃
スルニヨリ車ニ向ヒテ曰ク子曰ク射ノ
御ヲ善リ射尾ノ方ヲ針ノ速
ニスリ射制ヲ始ニテ能ク
能モノヲ実ニ君子ト謂ツヘシ然
レ尾仲人之始ニテ未タ辞カナラス
余掲ル二古ヘ掲車アリ胡文煕カ
回楽亭鬼谷子注ノ回南廣濱還
ル好ニ回ニ路ヲ走ハニテ
掲車ヲ造ルコレナ古史考
ニモ再ニ乗ノ周ニ作ルト或ハ
作ルト崔豹古今注ニ回旧説ニ周

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

乙仍テ所ニ留ム之ヲ爭フ敗入延袤
民澤ヲ重ノ来テ獻ス使着ル
歸路三軍ヲ留ム錫ヲ二等ニ
ヲ以テス皆可勇之製ヲ
又黄帝因テ四方ヲ帝ノ
可勇車ヲ製ス之ヲ前ニ當ツトス
林ニ因黄帝蚩尤ト涿鹿ノ野ニ
戰フニヲ大霧ヲ作ルニ弥ヘ久
皆惑フ帝風后ヲシテ斗機ニ法ツテ
指南車ヲ作リ以テ四方ヲ別タシム
ト亦古ノ注ニ因指南車ハ黄帝
ノ戰ヨリ起ル蚩尤大霧ヲ作ルヲ
ヲ遂ハス此ニ於テ指南車ヲ
作ルト余按スルニ何ヲ車ノニニテ
東西南北ヲ知ラン呂氏春秋
黄帝大撓ヲ師トス因テ帝
說ニ蚩尤ヲ斬テ大撓ニ命テ甲子
ヲ造リ時ヲ正サシム因テ帝自ラ
大撓ヲ引キ斗機ヲ採テ立機ヲ建テ
所ヲ占ハシメ始テ甲乙ヲ作リ以テ月ニ

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

名ヶ是ヲ斡云ヲ丑ヲ化テ以テ
日ニ名ヶコレヲ支ト稱ノ天ニ事ル
ヿアルキ八日ヲ用ヒ地事ルヿアル戊
八辰ヲ用ユ陰陽ヲ別ナル故ニ支ヲ多
アリト史上ニ挙ル所ロノ斗機ニ法ッテ
指南車ヲ作ルトテフハ今云北斗
七曜ノ十二的ヲ置ヶ年ノ月ニ歸スル
ニノソトツテ今ノ云名ヲ製名ヒ
イカニ振ルヽ庇ニマル的ハ南ヲヲサス
ノミナルヲ以テ斗機ニ準フモノナルヘシ

故ニ事ヲ中スニ霧裏ノ用ヒ
ヲ別メスト雖庇名ヲ置ケハ惑
フヿナシ是ヲ以テ此ヲ觀ル時ハ指南
事ハ名ノ法ノ支ノ事ハ
密ナルヲ以テ善ヲ以故ニ繫靜ニ曰
繫事多ラサレハ害アルト旦史益
名ハ指南ヲ南ヲ通オスヿ明ナリ
世ニ北ヲ通オストテフモノハ誤ナリ
此ニ名ノ名ノ始マルコト云事ノ法ノ
ルヿヲ知ヘシ然ルニ前世之論賢ホ

国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

詩書禮樂之涯畧未扶之傳論
孰者征之說歷史百家之評枝
藝能解之辨感拳ヲ論辨セサル
モノ寧ナリ指南車ノ一上ニ拳ルカ
如ク說アリト雖モ甚前以テ說
有ナシ將ニ爲石モ畧甚說アリト
雖モ解角ナラス此ニ於テ爲
石之記ル所ノト南ヲ連スルニ
以ノ故ト指南車ハ爲石ノ畧ナ
ルヲ知リ玉フ可シ余不敏ト雖
ヲ倫スルト雖モ蓋而ノ理ト程ト
爲ト此ニナルモノ合フ而ハ仰テ天ヽ
俯ス俯テ地ニ俯ス象神ニ質シテ
疑フ可ラス至重ヲ俟テ成フ方ラス
文政十年十月下浣石井光致識于磯
西亭

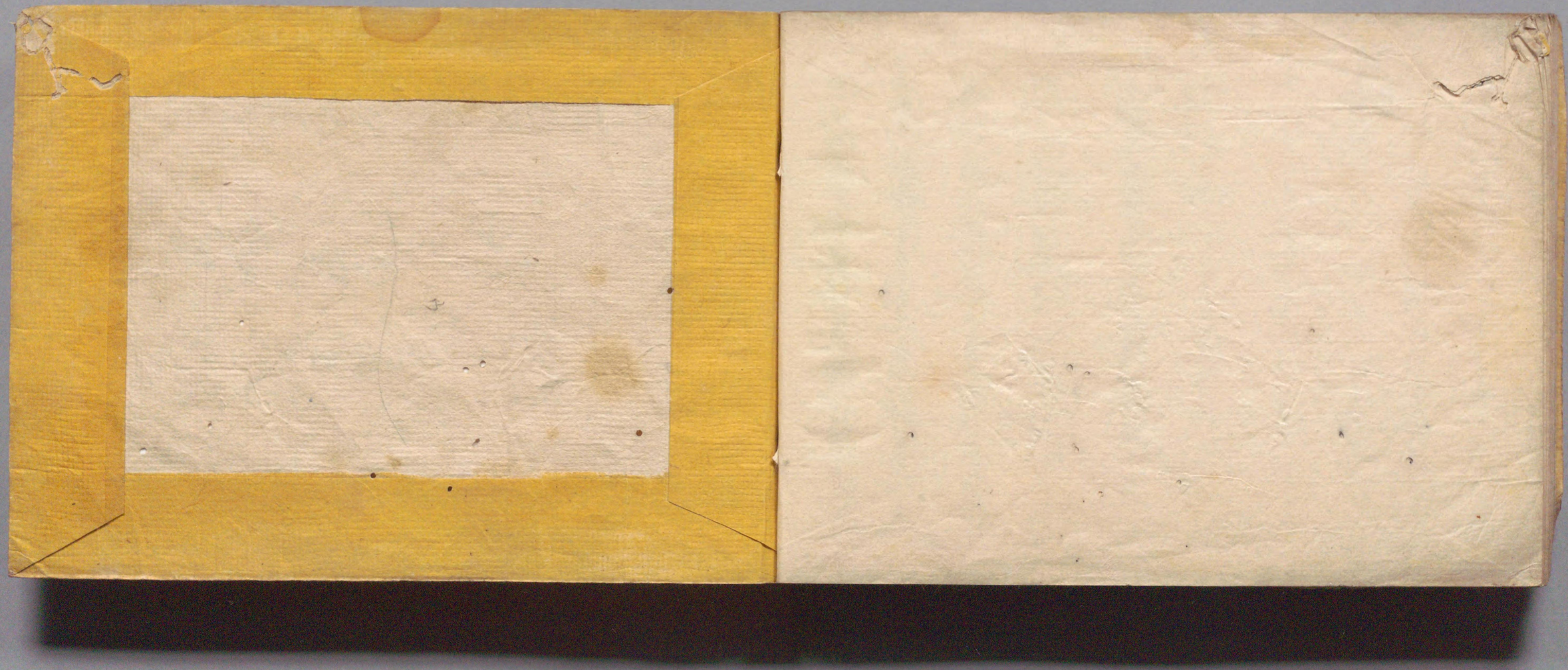
国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用

国立国会図書館

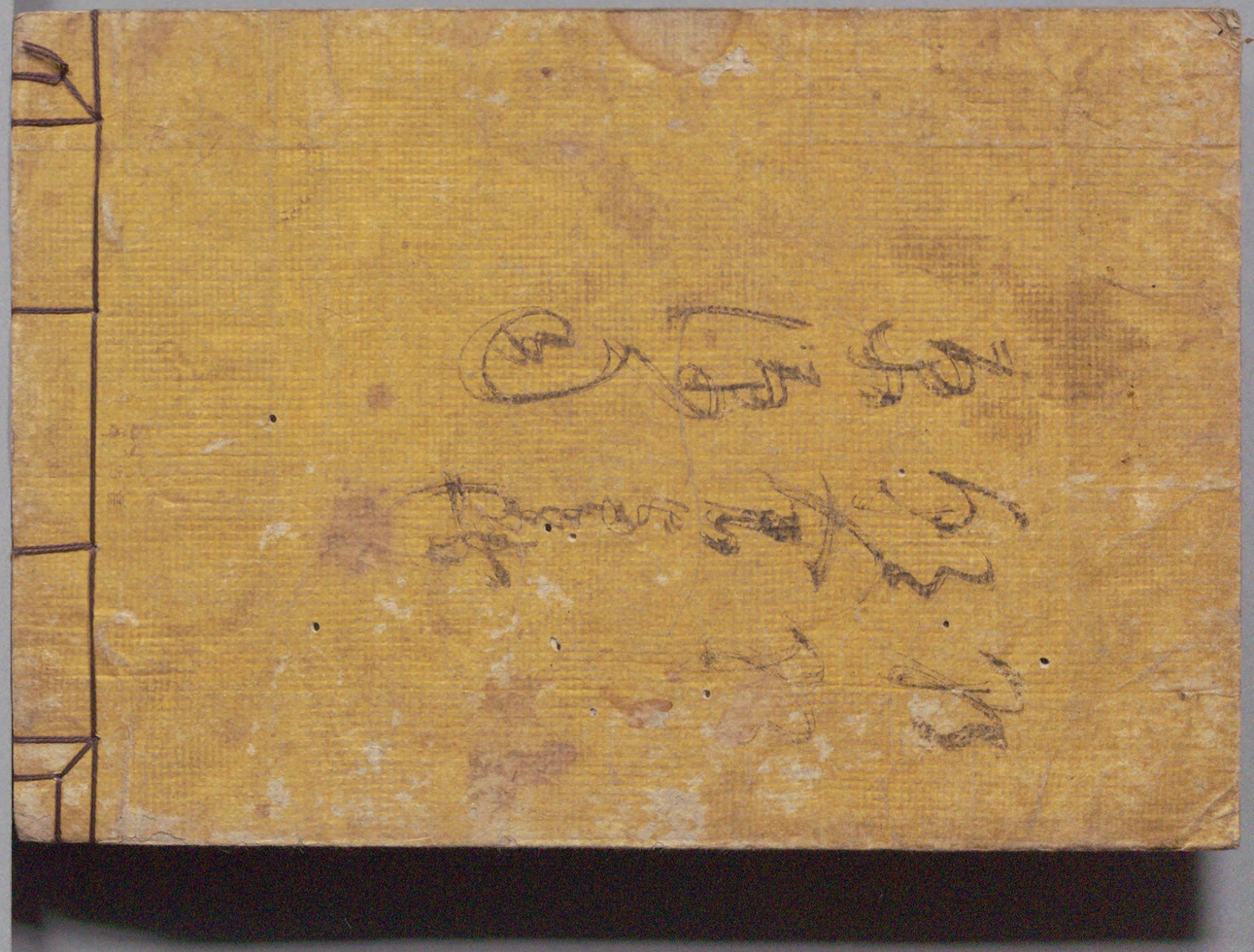
国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用



国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用



国立国会図書館　磁石論 W387-N10

ガラス使用